

理事会・評議員会レポート

財務会計基準機構（FASF）では、平成 25 年 3 月 18 日に理事会を開催し、第 14 期の事業計画等について決議した。その概要は以下のとおりである。

企業会計基準委員会委員の選任

平成 25 年 3 月 31 日付で 10 名の企業会計基準委員会（ASBJ）委員が任期満了することに伴い、13 名の ASBJ 委員を選任した。新任の ASBJ 委員については特集 2「企業会計基準委員会 新任委員の紹介」参照（平成 25 年 4 月以降の ASBJ 委員名簿は 206 頁参照）。

基準諮問会議委員及び議長を選任

平成 25 年 3 月 31 日付で基準諮問会議委員全員が任期満了することに伴い、同年 4 月 1 日付で 15 名の基準諮問会議委員を選任した。また、議長には野崎邦夫氏（住友化学(株) 常務執行役員）が再任された。平成 25 年 4 月以降の基準諮問会議委員名簿は 221 頁を参照。

第 14 期（平成 25 年度）の事業計画の承認

平成 25 年度事業計画が承認された。事業計画の概要は、以下のとおりである。

【ASBJ 関連】

- 会計基準・適応指針・実務対応報告の開発を行う。会計基準レベルのテーマとしては、審議が継続中である企業結合と無形資産の開発を進める。実務対応レベルのテーマでは、基準諮問会議から提言されたテーマについて、適宜に対応を図りながら開発を進める。
- 国際的な会計基準の開発への対応は、国際会計基準審議会（IASB）において審議中のテーマに関し、IASB での検討の方向性が我が国で受け入れることが可能なものであるかについて、適宜適切に我が国の意見を取りまとめ、意見発信を行う。
- IASB のアジェンダ・コンサルテーションに対しては、IASB で検討すべきとコメントしたテーマのうち、IASB で取り上げられることとされていないテーマについて、コメントの内容が実現するよう、適切な対応を図る。
- 国際的な意見発信は、会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への参加、IASB、米国財務会計基準審議会（FASB）との定期協議の実施、アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）、世界会計基準設定主体（WSS）会議等の国際会議への出席、IASB 及び FASB 等へコメントレターの提出を通じて行う。
- 国際財務報告基準（IFRS）の任意適用のサポートのため、IFRS 実務対応グループにおいて、IFRS を任意適用する際の会計上の論点等について、市場関係者と適宜協議を行う。
- 会計基準開発に国際的に貢献できる人材を中長期的に開発・育成するために、FASF と連携して

「会計人材開発支援プログラム」の開発に係るコンテンツの提供を行う。

【FASF 関連】

- 国際的な会計基準の開発に貢献するため、資金面、人材面で支援する。
- ディスクロージャー、広報、研修は、有価証券報告書及び四半期報告書の作成要領を取りまとめ、これにかかわるセミナーの実施を通じて、市場関係者へ必要な情報提供を行う。
- 国内会計基準及び IFRS の開発状況などを中心に取り扱う ASBJ オープン・セミナーも引き続き実施する。
- 市場関係者の情報提供は、FASF のホームページをはじめとした各種媒体を通じて行い、市場関係者の情報ニーズがどのようなところにあるか再確認し、それに合致した情報提供をするための検討を開始する。
- FASF の財政基盤を安定化させるため、未加入会社への加入促進活動などを行い、現行会員の維持にも注力する。
- ハードウェアの保守期限の満了に伴い、システムの二重化及び遠隔地保管等のセキュリティ構造の強化を織り込んだシステムリプレースを実施する。

第 14 期（平成 25 年度）の予算の承認

平成 25 年度の予算の概要は、以下のとおりである。

（千円）

経常収益	1,459,456
うち受取会費	1,378,750
経常費用	1,459,076
当期経常増減額	380

その他の委員会（業務推進委員会）委員及び委員長を選任

定款第 65 条の 2 第 2 項の規定に基づき、その他の委員会（業務推進委員会）委員及び委員長を選任した。委員には、平成 25 年 3 月 31 日付で ASBJ 委員の任期を満了した加藤 厚前 ASBJ 副委員長に代わり、小賀坂 敦 ASBJ 副委員長が選任された。改選後委員は、下記のとおり。

委員長：都 正二 公益財団法人財務会計基準機構 代表理事常務

委員：西川 郁生 企業会計基準委員会 委員長

新井 武広 企業会計基準委員会 副委員長（常勤）

小賀坂 敦 企業会計基準委員会 副委員長（常勤）